



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月4日
上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社
 コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務経理部長 (氏名) 佐藤 昭彦 TEL 03-3746-5100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	144,623	△27.2	7,404	△84.8	6,157	△87.2	1,018	△96.7
2019年12月期第3四半期	198,624	27.8	48,571	△3.2	48,136	△5.6	30,485	△48.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △5,441百万円 (ー%) 2019年12月期第3四半期 20,148百万円 (△65.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年12月期第3四半期	円 銭 4.78	円 銭 ー
2019年12月期第3四半期	143.02	ー

(注) 前連結会計年度末において、Tokai COBEX HoldCo GmbHとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年12月期第3四半期	百万円 448,916	百万円 218,630	% 43.9
2019年12月期	462,872	232,975	45.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 196,986百万円 2019年12月期 211,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	円 銭 ー	円 銭 24.00	円 銭 ー	円 銭 24.00	円 銭 48.00
2020年12月期	ー	15.00	ー	ー	ー
2020年12月期 (予想)	ー	ー	ー	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△27.5	6,100	△88.8	5,000	△90.6	500	△98.4	2.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名） Tokai Carbon Savoie SAS、除外 1 社（社名）
（注）詳細は、[添付資料] 11 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご参照下さい。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 3 Q	224,943,104株	2019年12月期	224,943,104株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	11,770,771株	2019年12月期	11,790,987株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 3 Q	213,164,282株	2019年12月期 3 Q	213,153,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2020年11月5日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)の世界経済は、新型コロナウイルスの影響により生産活動及び消費活動が著しく停滞しました。いち早く経済活動を再開させた中国を含め、各国とも新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ社会経済活動の維持・拡大を図っていますが、新型コロナウイルス感染拡大が継続する国・地域も多く、今年度の世界経済見通しは依然不透明な状況が継続しております。

当社グループにおいては、本年2月に公表した2020年から2022年までの3年間を対象とするローリング中期経営計画「T-2022」の下、事業活動を進めてまいりましたが、当社の主力事業である黒鉛電極事業とカーボンブラック事業の対面業界である鉄鋼産業、タイヤ産業の需要減少を受け業績の低下を余儀なくされております。フランスの炭素黒鉛製品メーカーであるCarbone Savoie International SASの買収等、戦略分野への投資による成長機会も追求しておりますが、本格的な業績回復には至っておらず、全社的な投資抑制、在庫削減、生産性改善と経費削減等に引き続き取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比27.2%減の1,446億2千3百万円となりました。営業利益は前年同期比84.8%減の74億4百万円となりました。経常利益は前年同期比87.2%減の61億5千7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比96.7%減の10億1千8百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

[黒鉛電極事業]

昨年から継続している世界的な景気減速に伴う鉄鋼市況の悪化と新型コロナウイルス感染拡大等により世界の鉄鋼業界操業は落ち込みました。鉄鋼生産量は4月を底として回復基調ではあるものの、前年同期比では当社の黒鉛電極販売量は減少しました。また、黒鉛電極市況の悪化や生産調整による原価率上昇で営業利益についても前年同期比で減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比58.5%減の302億8千2百万円となり、営業利益は前年同期比99.1%減の3億1千8百万円となりました。

[カーボンブラック事業]

新型コロナウイルス感染拡大を受け、対面業界であるタイヤメーカーを始めとした各社の活動が大幅に停滞し、当社販売数量は前年同期比で減少しました。また、販売価格の下落と生産調整による原価率上昇等により、営業利益は前年同期比で減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比37.3%減の504億円となり、営業利益は前年同期比91.9%減の6億4千8百万円となりました。

[ファインカーボン事業]

半導体、太陽光発電市場向けの出荷は堅調に推移しましたが、一般産業用途向けは新型コロナウイルス感染拡大に伴う顧客の生産調整により減少しました。一方で、高付加価値商品であるソリッドSiC(シリコンカーバイド)製品は世界的に旺盛な需要を取り込み出荷が伸びました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比1.4%増の235億8千2百万円となり、営業利益は前年同期比1.7%増の50億4百万円となりました。

[精錬ライニング事業]

当社は2019年7月26日にドイツの炭素黒鉛製品メーカーTokai COBEX HoldCo GmbH（旧商号COBEX HoldCo GmbH）及びそのグループ会社を連結子会社化し、これを「精錬ライニング事業」として報告セグメントに追加しております。さらに2020年7月17日にフランスの炭素黒鉛製品メーカーTokai Carbon Savoie International SAS（旧商号Carbone Savoie International SAS）及びそのグループ会社を連結子会社化し本セグメントに加えしました。本セグメントの主な事業は、アルミ精錬用カソード、高炉用ブロック、炭素電極等の製造、販売、研究開発となります。

主力のアルミ精錬用カソードは、世界的な景気後退を受けアルミ市場価格が低位に推移したことにより、アルミ精錬用ポットの巻き替え需要が後退し出荷量が減少しました。一方で高炉の内張り用ライニング材となる高炉用ブロックは中国の旺盛な巻き替え需要により高水準の出荷となりました。

この結果、当事業の売上高は232億8百万円となり、取得原価配分に伴う評価差額に係る償却費及びのれん償却費等の73億6千万円を差し引いた営業損失は1百万円となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉の売上高は、主要な需要先である情報技術関連業界向け及びエネルギー関連業界向けの設備投資が堅調に推移し前年同期比増となりました。発熱体その他製品の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界経済の減速により、電子部品業界向け及び中国のガラス業界向けの需要が減少したため前年同期比減となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比12.2%増の92億7百万円となり、営業利益は前年同期比7.5%増の23億1千7百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

四輪市販市場からの撤退による売り上げ減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大が建設用機械、農業用機械、二輪向け市場に影響しました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比20.1%減の46億1千5百万円となりました。

負極材

負極材市場における新興勢の台頭等により競争が激化し、当社は前年同期比で販売数量が減少しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比5.1%減の32億1千8百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比2.0%減の1億6百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比14.4%減の79億4千1百万円となり、営業利益は前年同期比33.2%減の1億8千8百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,695	58,154
受取手形及び売掛金	50,648	37,712
商品及び製品	20,227	15,384
仕掛品	35,116	34,027
原材料及び貯蔵品	31,036	23,921
その他	6,971	5,772
貸倒引当金	△248	△207
流動資産合計	196,446	174,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,092	25,077
機械装置及び運搬具（純額）	42,139	48,495
炉（純額）	4,700	8,309
土地	7,315	7,598
建設仮勘定	17,792	22,818
その他（純額）	6,302	7,226
有形固定資産合計	101,343	119,526
無形固定資産		
ソフトウェア	1,728	2,061
のれん	64,543	62,160
顧客関連資産	67,494	62,389
その他	8,200	7,687
無形固定資産合計	141,966	134,298
投資その他の資産		
投資有価証券	18,842	15,912
退職給付に係る資産	2,633	2,512
繰延税金資産	997	1,214
その他	693	736
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	23,115	20,325
固定資産合計	266,425	274,150
資産合計	462,872	448,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,857	12,459
電子記録債務	4,078	2,772
短期借入金	37,530	2,941
コマーシャル・ペーパー	30,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	833	7,285
未払法人税等	3,658	2,026
未払消費税等	359	—
未払費用	2,813	3,060
賞与引当金	1,550	2,066
その他	11,859	14,664
流動負債合計	117,541	87,277
固定負債		
社債	35,000	55,000
長期借入金	44,666	53,677
繰延税金負債	21,431	21,033
退職給付に係る負債	6,246	7,159
役員退職慰労引当金	86	79
執行役員等退職慰労引当金	66	73
環境安全対策引当金	296	455
その他	4,561	5,529
固定負債合計	112,355	143,008
負債合計	229,896	230,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,333	17,338
利益剰余金	173,310	166,016
自己株式	△7,260	△7,248
株主資本合計	203,819	196,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,415	6,404
繰延ヘッジ損益	34	△98
為替換算調整勘定	△1,671	△6,834
退職給付に係る調整累計額	1,239	971
その他の包括利益累計額合計	8,019	443
非支配株主持分	21,137	21,643
純資産合計	232,975	218,630
負債純資産合計	462,872	448,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	198,624	144,623
売上原価	122,572	106,100
売上総利益	76,051	38,522
販売費及び一般管理費	27,480	31,117
営業利益	48,571	7,404
営業外収益		
受取利息	226	156
受取配当金	370	343
持分法による投資利益	71	112
その他	551	553
営業外収益合計	1,220	1,166
営業外費用		
支払利息	431	692
為替差損	423	258
その他	800	1,462
営業外費用合計	1,655	2,413
経常利益	48,136	6,157
特別利益		
固定資産売却益	59	41
退職給付制度終了益	53	—
関係会社清算益	23	—
特別利益合計	135	41
特別損失		
災害による損失	—	446
投資有価証券評価損	—	117
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	443	—
特別損失合計	443	565
税金等調整前四半期純利益	47,828	5,633
法人税、住民税及び事業税	15,589	4,227
法人税等調整額	144	△1,545
法人税等合計	15,734	2,682
四半期純利益	32,093	2,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,608	1,932
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,485	1,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	32,093	2,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△2,013
繰延ヘッジ損益	—	△132
為替換算調整勘定	△11,730	△6,010
退職給付に係る調整額	△249	△268
持分法適用会社に対する持分相当額	1	32
その他の包括利益合計	△11,945	△8,392
四半期包括利益	20,148	△5,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,491	△6,556
非支配株主に係る四半期包括利益	△343	1,114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第2四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイ ンカー ボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	73,023	80,359	23,246	4,511	8,208	189,349	9,275	198,624	—	198,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	54	88	—	469	626	0	626	△626	—
計	73,036	80,413	23,335	4,511	8,678	189,975	9,275	199,250	△626	198,624
セグメント利益又は損 失(△)	36,262	7,969	4,919	△2,095	2,155	49,211	282	49,494	△922	48,571

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△922百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△930百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間より、Tokai COBEX HoldCo GmbH及びそのグループ会社3社について全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「精錬ライニング事業」のセグメント資産が1,177億6千1百万円増加しております。

なお、当該セグメント資産は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「精錬ライニング事業」において、Tokai COBEX HoldCo GmbH及びそのグループ会社3社について全株式を取得し連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において394億9千6百万円であります。

なお、当該のれんの金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,282	50,400	23,582	23,208	9,207	136,682	7,941	144,623	—	144,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	43	99	0	422	685	0	685	△685	—
計	30,402	50,444	23,682	23,208	9,630	137,367	7,941	145,309	△685	144,623
セグメント利益又は損 失(△)	318	648	5,004	△1	2,317	8,287	188	8,476	△1,071	7,404

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,071百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,038百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2019年7月26日に行われたTokai COBEX HoldCo GmbHとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、無形固定資産である顧客関連資産に40,657百万円、技術関連資産に1,949百万円、棚卸資産に2,156百万円、繰延税金負債に8,905百万円等が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額75,337百万円は、35,841百万円減少し、39,496百万円となっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、主として売上原価、減価償却費が増加し、のれん償却費が減少した結果、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ850百万円減少しております。

取得による企業結合

2020年7月17日付で締結いたしました、Alandia Industriesの保有するCarbone Savoie International SASの全株式を当社の子会社であるTokai COBEX GmbHと共同して取得し子会社とする契約に基づき、同日2020年7月17日付で以下のとおり株式の取得を完了し、同社及びその子会社1社を連結子会社としております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Carbone Savoie International SAS
事業の内容	アルミ精錬用カソード、特殊炭素製品、カーボン/黒鉛パウダーの製造・販売・研究開発

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、2020年2月に公表した3ヵ年中期経営計画「T-2022」におきまして、既存及び周辺事業での戦略投資活用による成長方針を掲げております。

Carbone Savoie International SAS及びそのグループ会社であるCarbone Savoie SASは、フランスを拠点に120年を超える歴史と伝統をもち、高い技術力に裏打ちされた高機能・高品質の黒鉛化カソード及び特殊炭素製品と信頼と実績に基づく優良な顧客基盤を有しております。主力のアルミ精錬用カソード事業が対面するアルミニウム市場は、自動車や航空機など輸送機器分野における軽量化ニーズ、建材分野における都市化進展によるアルミ使用量の増加、飲料容器のアルミ化、エレクトロニクス分野における銅の代替需要等を背景に、長期的には安定した成長が見込まれており、アルミ精錬用カソード需要も堅調に推移する見通しです。特殊炭素製品事業では、主として熱交換器や耐熱用途向けの素材を手掛けており、対面市場は引き続き堅実な需要の成長が期待されております。

当社は、本件により、精錬ライニング事業及びファインカーボン事業を成長させ、当社の収益力の向上のみならず、ポートフォリオの分散化を図り、ひいては当社の更なる企業価値向上につなげることを目的としております。

(3) 企業結合日

2020年7月17日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

(5) 結合後企業の名称

Tokai Carbon Savoie International SAS

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社及び当社の連結子会社であるTokai COBEX GmbHが共同して実施した、現金を対価とした株式取得により、Carbone Savoie International SASの議決権を100%保有することとなったためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年7月31日をみなし取得日としているため、2020年8月1日から2020年9月30日までの業績を含めております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	20,279百万円(166,000千ユーロ)
取得原価		20,279百万円(166,000千ユーロ)

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料等	609百万円
--------------------	--------

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

3,077百万円(25,195千ユーロ)

なお、上記の金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

17年間にわたる均等償却